

2003

stereo

MAY
5

特集1 SACD&DVDオーディオ~ハード/ソフトの現状

高音質ディスク・フォーマットであるSACDとDVDオーディオ。対応するプレーヤーも増え、ソフトのリリースも徐々に多くなってきた今、それらの現状と実力を検証する。

特集2 パッシブコンローラーの世界

電源いらすのシンプル音量調整装置が創出する、プリアンプとはひと味違う
ピュア&ダイレクト・サウンドの世界



★
電源ケーブル自作指南
オーディオ派のための
ディスプレイ選択法〜プラズマディスプレイ

●集中試聴
20〜50万円のパワーアンプ

長岡鉄男のオリジナルスピーカー
未完成モデルAV-27

フライングモール DAD-M1

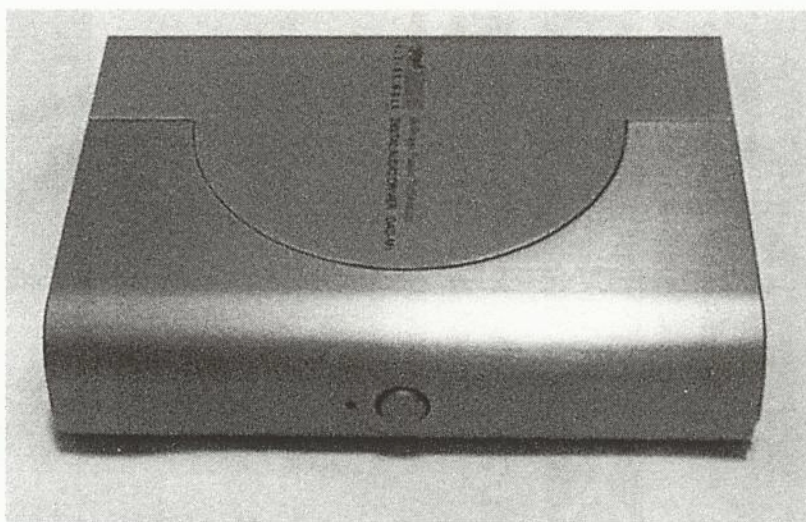
極小のデジタルパワーアンプが鳴り物入りで登場！

世の中「デジタルアンプ」なるものを搭載する機器がだんだんと増えてきた。国内では、シャープが受注生産のSMSX200を頂点にミニコンボまでと、積極的な1ビットデジタルアンプ普及活動を展開しているし、海外ではタクトのミレニアムIIや、バング&オルフセンが開発したデジタルアンプ・モジュールの「アイスパワー」などがある。要はデジタルベースで音楽信号の増幅を行なうものを「デジタルアンプ」と総称しており、スイッチング電源搭載による高効率、低発熱、省エネルギー、省スペース化など、多くのメリットを備えているという。

はがきサイズで160Wの高出力を実現

そんな中、「パワーアンプの常識を打ち破る、革命的な1ビットD級デジタルアンプ」「世界最小！ はがきサイズで160Wの高出力」という、それはそれは魅惑的な触れ込みで、一台のデジタルアンプが彗星のごとくホームオーディオ界に現れた。何を隠そう、フライングモール DAD-M1である。

フライングモール社は(<http://www.fly-mole.co.jp/>)、静岡県・浜松市に拠点を

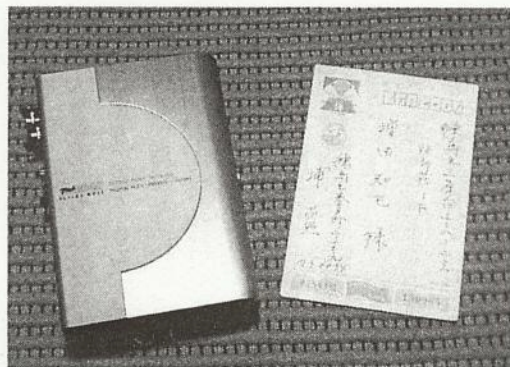


フライングモール DAD-M1 ¥40,000

フライングモール社は、デジタルアンプの製造・開発を基幹にビジネスを展開するベンチャー企業だ。DAD-M1は、電源部とアンプ部を融合した新技術「Bi-Phase Fusion technology」を採用し、総合変換率85%を実現する高効率デジタル・パワーアンプだ。オーディオ信号を0.2MHz~5.0MHzに変換する特殊な変調方式でのアンプの高周波化と、0.2MHzの固定周波数による電源部の高周波化によって、小型化にも成功している



入力1系統、出力1系統のシンプル構成。スピーカーケーブルはネジ止めで強固に固定できる。電源ケーブルは着脱可能タイプ(メガネ型)を採用。大きさ150W×106D×41Hmm、重さ730gの極小サイズだが、出力は4Ω時に160W、8Ω時には100Wに達する



このとおり縦横比ははがきとほとんど変わらない。デザインは日本のインダストリアル・デザインの草分け、(株)GKインダストリアルデザイン社が担当。機能美に徹した形状が麗しい

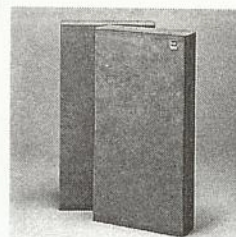
置く、2000年11月設立のエレクトロニクス商品開発メーカー。某AVメーカーで20年以上エレクトロニクスの商品開発に従事した技術者たちが独立したハイテク・ベンチャー技術集団である。すでに、DAD-M1以外にも、プロ用デジタルアンプや、

OE M供給も見据えたデジタルアンプ・モ

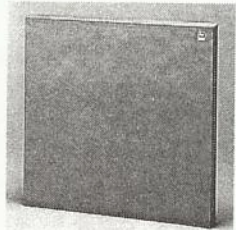
ジュールをラインアップするなど、多彩なビジネスを展開している。

早速DAD-M1を2台(モノラルのため)お借りして試聴を行なってみることにした。まずは開梱してビックリ、見事なまでの極小。厚みや重みを見ると、はがきサイズというよりはシステム手帳サイズ

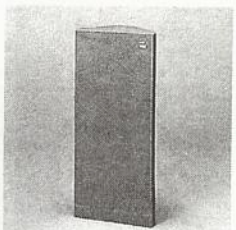
と言うのが適切だろう。入出力は1系統ずつ、電源スイッチに、入力ボリュームと装備もきわめてシンプルだ。仕様を見ると、確かに160W(4Ω時)とある。小型高出力をなしたわけは、電源部とアンプ部を融合した新技術によって85%という驚異的な変換効率を実現したからと説明されている(通常のデジタルアンプで60%前後、アナログアンプは30%前後)。また発熱量も低い(ヒートシンク等の必要もない)ことも、小型化に一役買っているようだ。縦置き、横置きどちらにも対応しているらしいが、ひとまず横置きで2台並べて聴いてみることにする。



GAC-500 ¥25,000 (2枚1組)
寸法40(幅)×90(高)×15(厚)cm 重量5.2kg



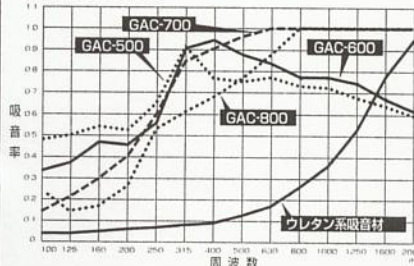
GAC-600 ¥18,000
GAC-600-2 ¥35,000 (2枚1組)
寸法40(幅)×90(高)×15(厚)cm 重量5.2kg



GAC-700 ¥25,000
寸法40(幅)×90(高)×15(厚)cm 重量5.2kg



GAC-800 ¥28,000
寸法20(幅)×10(高)×10(厚)cm 重量2.0kg



GAC-900 ¥18,500
GAC-900-2 ¥36,000 (2枚1組)
寸法40(幅)×90(高)×15(厚)cm 重量5.2kg

GAC-001 ¥2,500
寸法40(幅)×90(高)×15(厚)cm 重量1.0kg
※価格には消費税を含んでおりません。

■材質は高密度グラスウールに特殊不織布被さ。表面色はベージュ仕上げ(GAC-800はブラウン)です。特注でブラウン、ブラック、ベージュ仕上げや特殊寸法も承ります。

壁や天井の吸音には、『ミニ・ソネックス』!!



部屋の反射率が高いと、残響が長引くため音が重なって濁ります。特殊ウレタン・フォームをくさび状に成形したことにより、表面積を2.5倍に拡大させた吸音材です。

SN-3045 300(幅)×450(長)×24(厚)mm ¥7,900 (4枚入)
SN-4050 500(幅)×500(長)×10(厚)mm ¥4,800 (2枚入)

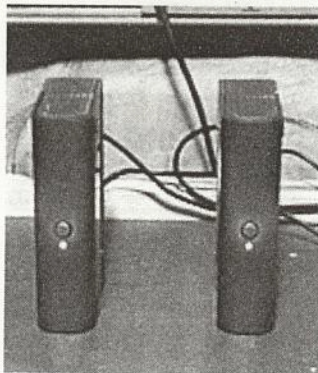
防音・防振の専門メーカー
東京防音株式会社

〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町5-6-7
☎(048)468-0033 FAX(048)469-1821

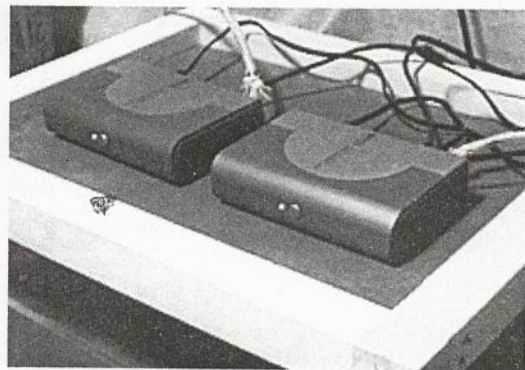
●カタログは商品名をご記入の上ST係までお申し込みください。
ホームページアドレス <http://www.bouon.jp/>

「アコースティック・コンディショナー・スタンド」は、厳密な測定データをもとに選んでいただけます。それぞれの周波数帯域に対してどのような吸音効果があるのかを確認できるため、設置場所に応じた確かな選び方、使いこなしが可能になります。吸音効果が分かる。このことが、自信を持ってお勧めできる理由です。

音場調整用パネルは、データで選んでいますか？



続いて縦置きで試聴。大勢に影響なし。ほんの少しだけすっきり傾向に



まずは横置きで試聴を開始。鮮烈でエネルギー的なサウンドにすっかり降参。臨場感抜群だ

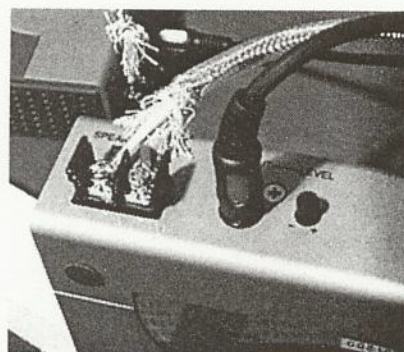
次いで、縦置きを試してみると、ややす

た瞬間である……。は芯がしっかりと表出しているからこそではないか？ バスドラムもタイトに締まる。鮮度抜群のエネルギー的なサウンドだ。かといって、楽器個々の響きは、この上なく美しく空間に浸透してくるのが凄い。演奏空間が圧倒的に広くなるようだ。数十万円のパワーアンプが、ペア8万円の小型アンプに完膚なきまでに叩きのめされた瞬間である……。

ボーカルの聞こえ方がまるで違う！ 気になっていたらさつきやもやつきが晴れ、ぐくくと迫り出し活舌よく、言葉の一言一言が見事に聴き取れるようになったのには驚いた。ギターのカッティングの鋭さ、パーカッションの強弱、手拍子のキレなども倍化され、躍動感が別世界に。トップシンバルはやや強調される感じもしたが、これは芯がしっかりと表出しているからこそではないか？ バスドラムもタイトに締まる。鮮度抜群のエネルギー的なサウンドだ。かといって、楽器個々の響きは、この上なく美しく空間に浸透してくるのが凄い。演奏空間が圧倒的に広くなるようだ。数十万円のパワーアンプが、ペア8万円の小型アンプに完膚なきまでに叩きのめされた瞬間である……。

ポリウム付きのためプリアンププレスでも使えるが、しかし……

さて。先ほど触れたが、DAD-MIには入力ポリウムが付属している。ということは、プリアンププレス・システムを構築することができるわけだ。念のため入力インピーダンスを確認し(10KΩ)、いざ聴かん！ ……痛い。耳が。というの



背面の入力ポリウムを活用して、プリアンプなしでも聴いてみると情報量激増。ただし、長時間の試聴はつらい

つきり傾向になる気もするが、大勢には影響なし。好みの置き方で聴いて全く問題なさそう。

本機のポリウムは豆粒ほどの大きさでしかない。音量調整が極めて難しい。それでも、何とか適正音量を探り出す(9時方向)と、今度は別の意味で痛々しい。めがねをかけて味わる視力2.0のような見えすぎる世界になった。分解能が向上して細かい表情を感じ取れるのはいいのだが、やや聴き疲れしそうにも思える音だ。好みがかかる場所だが、ポリウム調整の難しさも考えると、やはりプリアンプとの組み合わせが妥当と言えそう。

ここでDAD-MIの使い道にすこしばかり思いを馳せてみた。バイアンプ駆動はもちろん、ポリウム付きなのでマルチアンプ駆動でも最大限効力を発揮するだろう。サラウンド再生でも、チャンネル数に応じてのシステムアップが可能だ。しかし、何といっても驚かされるのは罪作りなこの値段。内容から考えても、エポックメイキングな存在になることは間違えないだろう。

(編集部M)